

2017.4～2017.9 (平成29年4月～平成29年9月) ● 鉄鋼事業部門 ● 機械事業部門

2017年
4月

機械事業部門

スウェーデン Quintus社の買収について

当社は、等方圧加圧装置（略称：IP装置）の世界トップメーカーであるスウェーデンのQuintus Technologies AB（以下、Quintus社）を約130億円で買収しました。

IP装置は、金属やセラミック、カーボンなどの素材を高圧・高温（または常温）環境下で圧力を均等にかけて加圧焼結または成形する装置であり、航空機部品や発電用タービンの羽根、半導体関連素材などの均質性、強度、耐久性を求められる高機能製品に幅広く適用されています。

Quintus社は世界のIP装置市場においてトップメーカーであり、今後伸張が期待される航空宇宙分野を中心に、欧州・米国で圧倒的な存在感があります。今回の買収により、当社は世界市場をターゲットにさらなる事業拡大を目指します。



大型熱間等方圧加圧(HIP)装置

2017年
9月

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所で2基目の脱りん炉が稼働開始

競争力強化を目的に加古川製鉄所で約90億円を投資して建設を進めてきた2基目の脱りん炉が稼働を開始しました。

溶けた鉄から硫黄やりんなどの不純物を除去する溶銑処理は、高い清浄度が要求される高品質な鋼材を製造するためには欠かせない工程で、脱りん炉はその工程で使用します。

今回の2基目の脱りん炉稼働による処理率の向上により、溶銑の全量脱りん処理が可能となり、その大半を脱りん炉で処理します。それにより、当社が注力する自動車向けの超ハイテン鋼板、特殊鋼線材など高い品質が要求される高級鋼を、より効率的に製造することが可能となり、年間20億円強のコストダウンになります。



稼働を開始した脱りん炉

2017年
9月

鉄鋼事業部門

北米における自動車用溶融亜鉛めっき超ハイテン鋼板の生産設備増設

当社と米国United States Steel社は、北米における自動車用ハイテン鋼板の需要拡大に対応するため、両社の合併企業であるPRO-TEC Coating社に、新たに連続溶融亜鉛めっき製造設備を1基増設することを決定し、正式契約を締結しました。2019年7月の営業運転開始を目指して、設備建設を進めます。

世界2位の自動車市場であり、また、燃費規制の強化で自動車の車体軽量化ニーズが高まる北米では、今後、ボデー骨格部品向けのめっきハイテン鋼板の需要拡大が想定されています。

当社は、自動車用ハイテン鋼板の生産拠点として日本、米国、中国の3極でのグローバル供給体制を整えており、品質に優れたハイテン鋼板の製造、供給を通じて、今後も燃費向上やCO₂削減に繋がる自動車の軽量化に貢献します。



PRO-TEC Coating社の外観

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。<http://www.kobelco.co.jp>

株式に関するご案内

「特別口座」について

現在株券をお持ちの株主様および以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様の株式は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください（お問い合わせ先は右ページに記載しております。）。「特別口座」では単元株式の売買はできませんので、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社に預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。